

災害復興支援

事業紹介

大規模な災害が発生した際に、迅速な緊急支援を実施することを目的に立ち上げた基金です。

支援の仕組み

支援金とは



救命・復旧活動	使われる
配分	支援団体が使い道を決定
被災地に届くまで	すぐに届く

義援金とは



救命・復旧活動	使われない
配分	被災者に公平に配分
被災地に届くまで	時間がかかる

「支援金」とは、被災者の方に直接送られる「義援金」とは違い、被災地でさまざまな支援活動を行う団体が被災者を助けるために活用されるものです。大規模な自然災害が発生した場合、被災地ではインフラの復旧などの行政による活動と同時に、民間の視点による被災者に寄り添ったきめの細かい支援活動も欠かせません。

2021年度のTOPIC

令和3年 福島県沖地震



7団体7專業に
合計19,920,000円を支援

2021年2月13日23時08分頃、福島県沖を震源として、マグニチュード7.3の地震が発生しました。日本財団は、2月20日より職員を派遣し、被災状況や支援活動の必要性、現地ニーズの把握などを行い、被災自治体や各連携団体と共に協議し、屋根被害に対する応急処置などの活動や、被災した家屋の屋根の復旧などを行いました。

2021年7月3日、梅雨前線による大雨に伴い、静岡県熱海市伊豆山の逢初川で土石流が発生。また8月には停滞する前線の影響で西日本を中心に大雨による被害が発生しました。日本財団は、被災地支援として、NPO・ボランティア活動への支援47団体、教育環境の整備8団体への支援を行いました。



55団体55專業に
合計76,162,000円を支援



令和3年大雨被害
静岡県熱海市／佐賀県武雄市

寄付者からの声



桐生順平様
(ポートレーサー)

自然災害や感染症でたくさんの人が大変な思いをしている中、ポートルースは開催中止となることもなく、自分はファンの方の応援をいただきながら変わらない毎日を送っています。

こうして寄付をすることで自分が社会に還元できれば、そして困難にある皆さまに対し少しでも役に立てれば良いと思っています。

皆さまからご支援いただいたことで、私たちは長期的に活動ができています。その中で被災者の方々からお話を聞いて、熱海が前に進んでいくためにはどうしたらいいかを考え、そこに繋がるサポートを行動に移すことができました。

これはご支援をいただいた皆さまのおかげだと思っています。本当に感謝しております。ご支援やお気持ちをありがとうございました。



一般社団法人
OPEN JAPAN
下田菜ほさん

支援現場からの声



一般社団法人
おもやい
鈴木隆太さん

一昨年の水害後、『安心して住み続けられる街』を合言葉のようにして活動をしてきました。その矢先に2回目の水害が起きてしまい、正直、一瞬心が折れかけました。

それでも武雄(佐賀県)に住み続けるという選択をしている人たちがいて、その人たちには離れたくない理由があります。武雄に住む人がいる以上は、私たちも『安心して住み続けられる街』をもう一度目指さなくてはなりません。

私たちの災害救援活動はいろいろな人たちとの繋がり、ご縁で成り立っています。その繋がりを日々感じながら活動させていただいています。その結果、私たちの目の前にいる人たちを笑顔にすることができているのだと思います。

今後もどうぞ私たちの活動を温かい目で見守ってくださると大変ありがたいです。



事業担当者より皆さまへ

災害対策事業部

2021年度もコロナ禍で、多くの人が被災地に集まって支援することが難しい状況が続きました。それでも、地元の人や専門技術を持ったNPOなどが連携して行う、被災者に寄り添った活動を支援することができました。

62団体



数字で見る2021年度の実績

- ①令和3年福島県沖地震
- ②令和3年大雨被害(静岡県熱海市／佐賀県武雄市)に対して、復興支援を実施。